

県内には、豊かな郷土色と昔ながらの技法を守り継ぎながら、作り続けられている伝統工芸品が数多くあります。「県知事指定特産民工芸品」の中から、これからの季節を涼やかに彩る工芸品をご紹介します。



ふくおかの 夏を彩る 伝統工芸



■ 八女すだれ

株式会社 鹿田産業

〒八女郡広川町太田428
☎0943-32-1141
ファクス0943-32-3500



右: 海外向けパンフレット制作や後進育成、一貫生産を目指した真竹植林などにも取り組む鹿田和正社長(写真右後)と、椿和幸さん(写真中央後)をはじめとしたスタッフの皆さん。モットーは「天然素材の心地よさを世界のすみずみへ」
下: 和の空間はもちろん、モダンな洋の空間との相性もぴったり



奈良・平安時代、貴族がハレの日に来客をもてなすためにしつらえていた調度品・御簾。その流れを汲むといわれる『八女すだれ』は、八女産の竹を原料に地元で作られていることや、足踏み織機を用いねじり編みという技法で織られていること、縁が手縫いさ持っています。
入念に節と色を揃えた竹ひごを、職人が一本一本向きを変えるなどして織機に差し込み、丁寧に織り上げていく八女すだれ。100年以上の歴史を持つ株式会社 鹿田

■ 工程



竹ひごを定期的に当てて節を合わせた後、全工程の中で最も難しい色合わせを行う



細く繊細な竹ひごを一本一本織機へ。1日でわずか3枚しか織ることができない大変な作業



すだれには、装飾金具や房も手作業で取り付けられる。写真は寺社用の緞子

日本の伝統文化を 福岡から世界へ発信



住まいと自然を隔てることなく仕切ることができるすだれには、昔ながらの日本人の知恵と美意識が息づいている

ものづくりへの情熱と

炎が生み出す丹精の美

1400度もの溶解炉から、熱くアメ状に溶けた数種類の色のガラス生地を鉄製のパイプに繰り返し巻き取り、小気味よい手さばきで思い描く形へと作り上げていく。その見事な職人技の結晶ともいえる『福岡積層工芸ガラス』は、

幾つにも重なる色ガラスと光の反射が織りなす豊かな表情が特徴です。透き通る鮮やかな色と美しい曲線は、人々の目を惹きつけてくれます。「伝統の技術を守りながら、常に今見る人に新鮮な感動を与えることができるデザ

ヴェネチアンガラス風に作られた金魚の置物。色使いが斬新



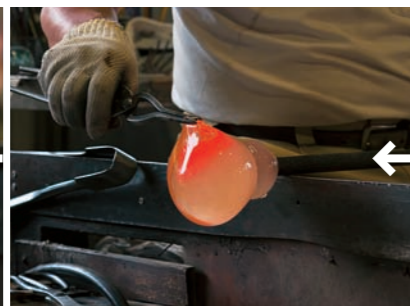
上: マルティグラスの高田泰良社長(写真右)と談笑する杉岡良紀さん
左: なめらかな曲線が目を引く「スワン」モチーフの置物は、部屋を涼しげに演出してくれるアイテム。工房に隣接するギャラリーには食器や花器、干支や節句飾りをはじめとする装飾品、アクセサリーなど多彩なアイテムが揃う



■ 工程



その日作る作品に合わせて、日々違う色のガラス原料が数種類溶かされる



鉄製パイプの先に巻き取ったガラス生地は少し落ち着かせてから成形作業へ

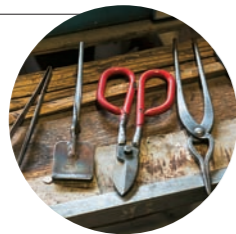


炎の中で再加熱。繰り返し加熱すると色の質が悪くなるので、成形は時間との闘い

■ 福岡積層工芸ガラス

有限会社
マルティグラス

〒福津市宮司3-18-2
☎0940-34-5370
ファクス0940-34-5371





明治時代から使われている円盤切削機で、樟を細かく砕き木片(チップ)に



大きな蒸し器である甕に入れて敷き詰め、甕に火を入れ合計約30時間かけて蒸留



木片を蒸す際に発生する蒸気を水で3日間かけて冷却。樟脳成分を抽出する



しょうのう 天然樟脳

内野樟脳

〒みやま市瀬高町長田1863-1
☎/ファクス 0944-62-2985



右：福岡だけでなく、全国のショップで販売されている天然樟脳と樟脳オイル。「もっと広く樟脳のことを知ってもらいきっかけになるように」と、4年前に包装デザインを刷新。モダンなパッケージが特徴
下：樟 典良さん(写真右)は、内野さんとともに樟脳づくりに取り組むよきパートナー



森林の中にいるような清涼感あふれるやさしい香りが特徴で、結晶は防虫・芳香剤として、精油はアロマとして注目を集めている『天然樟脳』。合成樟脳の普及などにより、全国的にも生産者が減少しましたが、県内では唯一、江戸時代から150年続く内野樟脳(みやま市)で作られています。
内野樟脳では、今でも伝統製法を採用。九州産の樟を木片状にした後、甕で合計約30時間蒸し、その蒸気を冷却して成分を抽出するなど、全工程に最低でも10日は要します。約6トンの樟からできる樟脳はわずか約25キログラム。先代である亡き夫からそ

福岡県のひと、モノ、情報が大集合

福岡よかもんひろば

〒福岡市博多区東公園7-7 福岡県庁11階
☎092-645-1835 ファクス092-645-1836

昨春、県庁に誕生した「福岡よかもんひろば」。南棟の展示室では、東公園越しに遠くは宝満山まで見渡せ、絶景を眺めながら気軽に伝統工芸に親しめます。北棟のラウンジでは、工芸体験ができるワークショップや親子、家族が一緒になって楽しめるイベントも随時開催。



工芸品に実際に触れたり、目や耳で楽しめるコーナーもある



県が誇る物産が写真と映像でも紹介されている

福岡が誇る伝統工芸の魅力を感じる・学ぶ・体験する

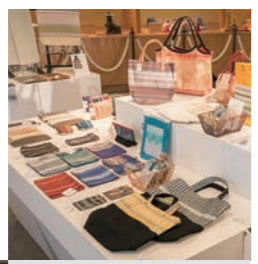
「福岡よかもんひろば」& 「匠ギャラリー」

経済産業大臣が指定する県内伝統的工芸品7品目をはじめ、県知事指定33品目を常設展示。さらに、県内作家の展覧会や制作体験など、さまざまな角度から福岡の伝統工芸の魅力に迫ることができます。

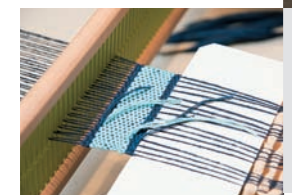
匠ギャラリー

〒福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡2階
☎092-725-9100 ファクス092-725-9102

週替わりで開催される企画展は、地域の伝統工芸に携わっている人たちの作品発表の場であるだけでなく、来場者がその実演・体験を楽しめる場としても好評です。見るだけでは分からない伝統工芸の魅力を発見してみませんか。工芸品の制作工程などが学べるDVD鑑賞(日本語・英語・韓国語・中国語)もできます。



作品を見ながら、直接作家さんに話を聞くことができる



天神の真ん中で”本物“に出会う



国・県指定の工芸品がずらり。小学生の社会科見学や海外の方の見学も受付 ※要事前申し込み

守り続けてきた

百五十年の結晶

の技と思いを受け継いで奮闘する内野和代さんは、「天然樟脳の良さを理解してくれる愛用者の声の仕事が続ける何よりの原動力。ただ、大量生産ができないのでお待たせしてしまいうことも。それが心苦しい」と話します。

「マニュアルは一切ない。自分の五感が頼り」という天然樟脳づくり。作り手にとっての一番の魅力は「品物に自信が持てること」と内野さんは言います。その言葉の一つ一つに、五代目樟脳師としての矜持が感じられます。



工場見学に訪れた小学生が「白く輝く香りの宝石」と称した樟脳の塊